

解剖学実習

今回は、福井大学医学部の先生方をお招きし、ラットを用いて神経系・骨格系・筋肉系・消化器系等の構造や機能に関する講義・観察を行いました。

事前にテキストを読んで予習し、体のつくりを詳細に観察しながら丁寧に解剖を行いました。大学の先生方に指導を受ける中で体の精巧な造りや今まで学習してきた臓器を実際に観察でき、生命の神秘さや生命倫理に対する考えを深めるきっかけとなりました。

1 日時 令和3年1月30日(土) 13:00～ 16:30

2 場所 藤島高等学校生物実験室

3 講師 福井大学医学部医学科

教授 飯野 哲 先生

准教授 堀口 和秀 先生

研究員 堀口 里美 先生

4 対象 本校1, 2年生 25名

5 内容

- ・ラットについて ・体表の観察
- ・神経系・骨格系・筋肉系・消化器系等の構造や機能について

6 参加生徒の感想

- ・とても貴重な経験をさせていただきました。生きている状態から始めたことによって、この実習は生き物の大切な命を頂いて成り立つものだとより強く感じ、真剣に取り組む姿勢が大切だと思いました。実際に自分たちの手で体のつくりを見ていくことで、教科書の図を見ているだけでは分からないことも知ることが出来ました。
- ・今まで図や写真でしか見たことがなかった臓器や骨などが実際に自分の手で解剖し、観察することで位置や形がよく分かりました。ラットとヒトの体のつくりの違いや似ている点も見つけられて興味深かったです。
- ・今回、始めて解剖するという貴重な経験をすることが出来たと思う。生物の体内は、思っていたよりもぎっしりと臓器などが詰まっていて、筋肉などもとても厚かったので生物の生命力というものが伝わってきた。あんなに小さな臓器でも生きていくために必要な生命活動をしているので、とてもよく出来た構造だと思った。今回の実習で得たものを今後の進路や学習活動にいかしていきたい。
- ・初めは解剖できるか不安でしたが、講師の先生方のおかげで安心して行うことが出来ました。私は医学の道に進みたいと考えていますが、今回の実習で、医学はやはり興味深いと感じ、より強い目標となりました。先生方、ありがとうございました。

